

2014ヒット予測&2013ヒット商品

個人生活を刺激する
流行情報誌

日経トレンドイ

半沢直樹
あまちゃん
パズドラ
レイコップ...



100ページ
総力特集



TRENDY

2014

DECEMBER 2013 12

ヒット予測 ランキング



2013

ヒット商品 ベスト30



新iPhoneの乗り換えテク

タイガー&
ASOKOで変わる

おしゃれ系・プチプラ雑貨



特別定価 650円
日経BP社

2013年12月4日発行 発行所 日経BP社 編集長 藤田 隆 編集 藤田 隆 発行 日経BP社

「モテたい俺」から「モテなくていい私」へ

BEST30 FOR 2013



バブル時代

元祖プロデューサー巻き

巻いてる俺アピール

90年前後のバブル時代に流行したスタイル。当時破竹の勢いだったテレビ局のプロデューサーが取り入れたので、「プロデューサー巻き」と呼ばれるように。いわゆる業界人スタイルだ。どのブランドを巻くかも重要。



実は堅実スタイル

「プロデューサー巻き=バブルの再来」で浮ついたイメージを抱きがちだが、今のプロデューサー巻きに使う薄手のカーディガンは価格が手頃。1シーズン限りのアイテムでもない。コストパフォーマンスの高い「ちょい足し」アイテムを使う堅実スタイルだ。

“ハイブリッド”なスタイル

春先に天候が安定しなかった13年。プロデューサー巻きは温度変化に応じて自由に着脱できる実用的なスタイルとしても取り入れられた。ある時は洋服として、ある時は差し色のアクセサリとしてカーディガンを活用する、ハイブリッドスタイルといえる。



2013年
プロデューサー巻きNEO

今どきオシャレスタイル

正面だけではなく横や背中にも動きを演出でき、着こなしの新傾向である「360度コーディネート」に合致する。13年はアシンメトリーな巻き方も登場。「20年前と違い「こなれた感」が出て、程よい新味もある」（パーソナルスタイリストみなみ佳奈氏）。



バブル時代を象徴するオヤジ的なファッションとして、「ダサイ」と思われていた「プロデューサー巻き」が13年、若い女性を中心に大氾濫。クラッチバッグなどの人気とも相まって、「アベノミクス景気でバブルファッションの再来か!？」と騒がれた。

バブル時代は文字通りテレビ局の男性プロデューサーなど、勢いのある大人たちが、「巻いてる俺」を主張するかのようスタイルの一つだった。「見せびらかす意識もあるもので、どのブランドなのかも重要だった」（伊藤忠ファッションシステム中村ゆい氏）。前提にあるのは他人の目で、女性にモテたい願望が透けて見えていた。

しかし、現在の若者、特に女性たちがプロデューサー巻きをする理由は、全く逆だ。モテや他人に良く見られたい意識よりも、実用性が優先する。カーディガンは洋服にもアクセサリにもなる便利なアイテムで、しかも手頃格好の「ちょい足し」アイテムになる、と複数のファッション関係者も話す。

「少ない出費で最大の着回し効果を期待する意識は、アベノミクス以降も女性では基本の買い物スタイル」（ファッションジャーナリスト宮田理江氏）。

そもそもバブルを知らない世代にとってこのスタイルが「ダサイ」という意識は皆無。昔は実用性よりモテ。今はモテよりも実用性。約20年の歳月を経て舞い戻ったスタイルが含有するのは、当時とは180度違う意識だった。